

平成15年9月11日
中国電力株式会社

三隅発電所2号機建設計画の変更に関する申し入れについて

当社は、本日、島根県知事ならびに三隅町長に対して、三隅発電所2号機の建設計画の変更について申し入れをいたしました。

三隅発電所2号機につきましては、平成15年度供給計画において、平成16年6月着工、平成19年7月営業運転開始としているところですが、地球環境問題への対応や電力自由化の進展など当社を取り巻く状況は一段と厳しさを増しています。

こうした状況を踏まえ、三隅発電所2号機の建設計画について慎重に検討した結果、更に環境特性と経済性に優れた発電所とする必要があることから、このたび、現在実証機の開発が進められている石炭ガス化複合発電方式を導入することとし、建設計画を変更することといたしました。

1. 建設時期

- ・着工 : 「平成16年6月」を「平成26年度」に変更
- ・営業運転開始 : 「平成19年7月」を「平成29年度」に変更

2. 発電方式

「石炭ガス化複合発電」
(更に高効率で地球環境に優しい石炭利用技術が開発されれば、当該技術の採用についても検討する。)

3. 変更時期

平成16年度供給計画において変更

以上

- (添付資料) ・[三隅発電所の概要と建設計画の主要経緯](#)
・[石炭ガス化複合発電方式の概要](#)

【三隅発電所の概要】

1. 発電所名 : 三隅発電所
2. 所在地 : 島根県那賀(ナカ)郡三隅町大字岡見1810番地
3. 出力 : 1号機 - 100万kW
2号機 - 40万kW(平成15年度供給計画)
4. 着工年月 : 1号機 - 平成7年1月
2号機 - 平成16年6月(平成15年度供給計画)
5. 営業運転開始 : 1号機 - 平成10年6月
2号機 - 平成19年7月(平成15年度供給計画)
6. 使用燃料 : 石炭

【三隅発電所建設計画の主要経緯】

- 昭和53年11月 地元への建設申し入れ
- 昭和55年3月 昭和55年度施設計画(現在の供給計画)に発電所計画を計上
- 昭和57年7月 第88回電源開発調整審議会において発電所計画が承認され、国の電源開発基本計画に組入れ
- 平成4年3月 発電所計画における出力の変更
1号機:70万→100万kW, 2号機:70万→40万kW
- 平成5年12月 第125回電源開発調整審議会において計画(出力)変更が承認される
- 平成7年1月 1号機の着工
- 平成10年6月 1号機の営業運転開始
- 平成13年3月 2号機の着工および営業運転開始時期の繰延べ
・着工:平成13年6月→平成16年6月
・営業運転開始:平成16年7月→平成19年7月

【石炭ガス化複合発電方式の概要】

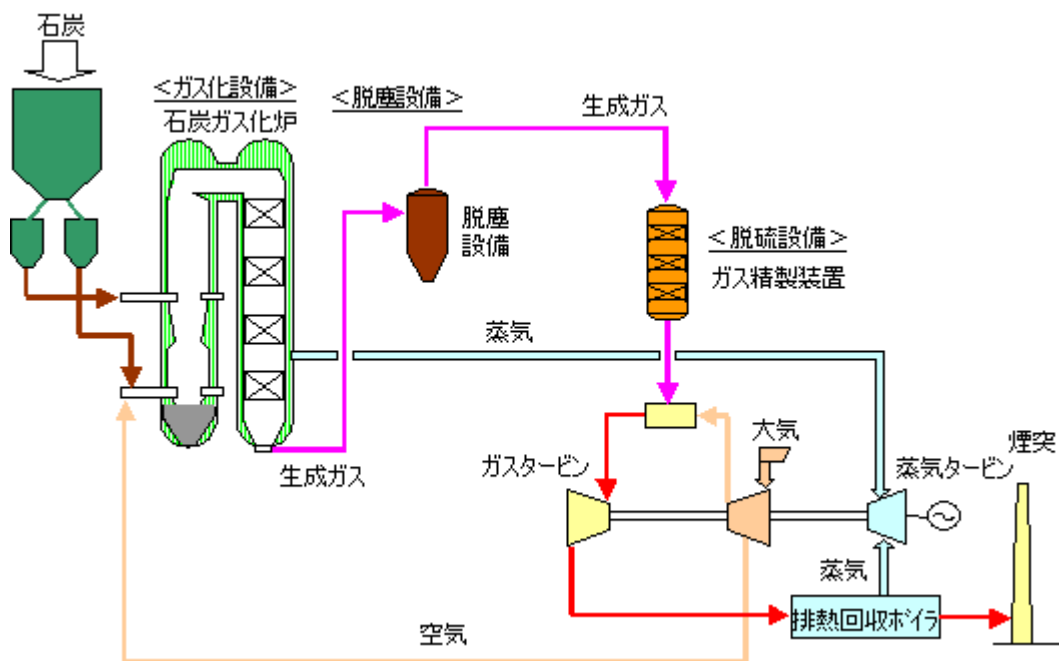
「石炭ガス化複合発電」とは、石炭をガス化し、蒸気タービンにガスタービンを組み合わせた複合発電(コンバインドサイクル発電)で、これにより従来型の石炭火力発電に比べ更なる高効率化を目指す発電システムです。

(特徴)

- 「石炭ガス化複合発電」は、石炭をガス化することでコンバインドサイクル発電ができるため、従来型の石炭火力発電所の発電効率41～43%に対して、この発電方式では47～50%程度の発電効率が見込まれます。
これにより二酸化炭素排出量は1～2割程度削減できるという特徴があります。

(仕組み)

- (1) 石炭を高温高压のガス化炉で可燃性ガスに転換し、
- (2) その可燃性ガスを燃焼させてガスタービンを回すと同時に、
- (3) 燃焼時に発生する高温の排ガスを排熱回収ボイラーに導き発生させる蒸気と、ガス化炉で発生した蒸気で蒸気タービンを回して発電します。



石炭ガス化複合発電システムの概要